

6月2日に、全校児童を対象にした「生活アンケート」を実施しました。（1年生：口頭での保護者への聞き取り。2～6年生：アンケート用紙）休業中の生活についてのことや、これからの学校生活で心配なことを質問しました。

アンケートの結果から、休業期間中は3食の食事をしっかりとろうと心がけたり、体を動かそうと心がけたりして、健康な生活を送ろうとしていた様子が分かりました。手洗いやマスクを着用しようとした児童も多く、感染予防に対する意識が高いことが読み取れます。また、計画を立てて学習に取り組んだ児童も多く、休業中工夫して時間を使っていた様子が分かりました。

しかしながら、早寝早起きをしようと意識していた児童が31%であり、半数が「朝起きられるか心配である」と回答していることから、「生活のリズムを整える必要」も考えられます。学校の授業中などの様子で変わったことがあれば、ご家庭と連携を取りながらリズムを取り戻せるように支援していきます。

また、「学習」に不安があると32%の児童が回答しました。これは高学年になるほど多くなりました。また22%の児童が「健康面」での不安も感じていることが分かりました。これは低学年ほど多い回答がありました。学習面では児童が身に付けるべき力を考えながら学習内容を精選していくことを、子どもたちに分かるように伝えていきます。見通しをもった学習活動をし、自分がつけた力について気が付けるような振り返りをするすることで、子どもたちの不安感を少なくしていきます。健康面については保健指導などで、感染予防についての意識を更に高め、一人一人の力がみんなの健康を守ることにつながることを伝え、安心感をもてるようにしていきます。

「ストレスから頭やおなかが痛くなる」「心配になったりイライラしたりすることがある」と回答した児童がいました。いつもと違う環境で、気付かないうちにストレスを抱えている場合もあります。個別に声をかけ、学校でもお子さんの様子を見ていきたいと思いますが、ご家庭でも気になることや心配なことがありましたら、学校にご連絡いただければと思います。「心配がある」と回答した児童については、6月中に担任が個別に話をしていきます。

